

ファイブグロース

変額個人年金保険GF(VII型)

特別勘定レポート 2017年(平成29年)6月発行

「ファイブグロース」の運用期間の満了に伴い、特別勘定での運用を終了したため、今月号で特別勘定レポートは最終号となります。

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。

「ファイブグロース」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険GF(VII型)の商品名です。「ファイブグロース」には専用の特別勘定グループが設定されています。



東京海上日動あんしん生命

お客さまへのご案内

- 当資料はお客さまに特別勘定の運用状況や運用概況などをお知らせするための資料です。
- 当資料はお客さまの運用状況などをご案内する「ご契約状況のお知らせ」とは異なります。お客さまの個別の運用状況は掲載されておりませんのでご了承ください。
- 今回の月次運用レポートは発行月前月末時点の最新データによるものです。
- 各種変更手続き、積立金額のご照会など、ご契約に関するお問い合わせは下記フリーダイヤルまでご連絡ください。

テレホンサービス **0120-237-770**

受付時間 月～金/9:00～17:00

(祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)

※お問い合わせの際は、証券番号がわかるもの(保険証券など)をお手元にご準備ください。

- ホームページによる情報提供とサービス

東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ホームページ <http://www.tmn-anshin.co.jp>

ご契約者さま専用ページでは、ログインIDとパスワードを使って、インターネットから住所変更などのお手続きや運用状況の確認を行うことができます。

データは毎営業日に更新されますので、いつでも最新の情報を得ることができます。

ログインIDとパスワードはご契約者さまご本人において厳重に管理していただき、第三者に開示されることのないようお願い申し上げます。

特別勘定の内容

特別勘定の名称	主な投資対象となる投資信託	運用会社	資産運用関係費用(年率)*1
FG新興国重視型20	SMAM・FG新興国重視型バランス20VA 〈適格機関投資家限定〉	三井住友アセットマネジメント	0.49352%(税込)程度*2
FGグローバル型25	SMAM・FGグローバルバランス25VA 〈適格機関投資家限定〉		0.35624%(税込)程度*2
FG新興国債券	SMAM・FG新興国債券インデックスVA 〈適格機関投資家限定〉		0.8484%(税込)程度*2
FG新興国株式	SMAM・FG新興国株式インデックスVA 〈適格機関投資家限定〉		0.3884%(税込)程度*2
FG日本株式	日経225VA(適格機関投資家専用)		0.216%(税込)程度*3
FG外国債券円H	ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンド／為替ヘッジ付きVA4〈適格機関投資家限定〉	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ	0.2484%(税込)程度*3
アジア債券円H	GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド(円ヘッジコース)VA〈適格機関投資家限定〉	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	0.9612%(税込)程度*3
FGマネー	SMAM・FGマネーファンドVA〈適格機関投資家限定〉	三井住友アセットマネジメント	各月ごとに決定*4

【参考指数】

国内株式：TOPIX(東証株価指数、配当込み)

外国株式：MSCI-KOKUSAIインデックス(税引前配当込み、円ベース)

新興国株式：FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックス(税引後配当込み、円ベース)(注)

国内債券：NOMURA-BPI(総合)

外国債券：シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債券：JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)

*1 資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更する可能性があります。

*2 主な投資対象となる投資信託の信託報酬率に主な投資対象となる投資信託の各マザーファンドが投資対象とする上場投資信託証券(ETF)の信託報酬率等を基本資産配分比率で按分して算出した値を加えた実質的な信託報酬率等で記載しています。なお、「FG新興国重視型20」「FGグローバル型25」「FG新興国株式」の主な投資対象となる投資信託が投資する新興国株式ETF・マザーファンドの主要投資対象であるバンガード・FTSE・エマージング・マーケットETFの信託報酬率等は年1回見直しされ変動するため、実質的な信託報酬率は2017年2月27日の値(年0.14%)をもとに算出しています。投資信託の運用には信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかることがあります。これらの費用は発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。

*3 主な投資対象となる投資信託の信託報酬率を記載しています。投資信託の運用には信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかることがあります。これらの費用は一部(「アジア債券円H」の主な投資対象となる投資信託の信託事務の諸費用【監査報酬を含む、投資信託の純資産総額の年率0.05%相当額が上限】)を除き、発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。

*4 前月の最終営業日の翌日から当月の最終営業日までの信託報酬率は、原則として、当該各月の前月最終5営業日における無担保コール翌日物レート(年率)の平均値(以下「コールレート」といいます)に応じ、次に掲げる率(税込)とします。コールレートが0.25%未満の場合はコールレート×0.432、0.25%以上0.50%未満の場合は0.108%、0.50%以上1.00%未満の場合は0.1512%、1.00%以上の場合は0.1944%とします。

(注) 主な投資対象となる投資信託が投資する「新興国株式ETF・マザーファンド」の主要投資対象である上場投資信託証券(ETF)のベンチマークは以下の通りとなります。

・2013年1月10日まではMSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)

・移行期間の2013年1月11日から2013年6月28日まではFTSEエマージング・トランジション・インデックス(税引後配当込み、円ベース)

・2013年6月29日から2015年11月3日まではFTSEエマージング・インデックス(税引後配当込み、円ベース)

・移行期間の2015年11月4日から2016年9月19日まではFTSEエマージング・マーケット・オールキャップ中国A株トランジション・インデックス(税引後配当込み、円ベース)

・2016年9月20日からはFTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックス(税引後配当込み、円ベース)

特別勘定の運用方針

特別勘定の名称	運用方針
FG新興国重視型20	主な投資対象となる投資信託を通じて、国内外の株式および債券に分散投資することにより、資産の着実な成長を目指します。基本資産配分は、国内株式5%、外国株式5%、新興国株式10%、国内債券5%、外国債券30%、新興国債券45%です。なお、外貨建資産については為替ヘッジを行いません。
FGグローバル型25	主な投資対象となる投資信託を通じて、国内外の株式および債券に分散投資することにより、資産の着実な成長を目指します。基本資産配分は、国内株式5%、外国株式10%、新興国株式10%、国内債券10%、外国債券40%、新興国債券25%です。なお、外貨建資産については為替ヘッジを行いません。
FG新興国債券	主な投資対象となる投資信託を通じて、新興国の債券等に投資することにより、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)に概ね連動する投資成果を目指します。なお、外貨建資産については為替ヘッジを行いません。
FG新興国株式	主な投資対象となる投資信託を通じて、新興国の株式等に投資することにより、FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックス(税引後配当込み、円ベース)(P1の(注)をご参照ください)に概ね連動する投資成果を目指します。なお、外貨建資産については為替ヘッジを行いません。
FG日本株式	主な投資対象となる投資信託を通じて、わが国の株式に投資することにより、日経平均株価と連動する投資成果を目標として運用を行います。
FG外国債券円H	主な投資対象となる投資信託を通じて、日本を除く世界主要先進国の国債、政府機関債等に投資することにより、シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。なお、外貨建資産については原則として為替ヘッジを行います。
アジア債券円H	主な投資対象となる投資信託を通じて、主として、日本を除くアジアの企業が発行する米ドル建ハイ・イールド債券に投資することにより、資産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。原則として対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。
FGマネー	主な投資対象となる投資信託を通じ、主として円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保を目指します。

●特別勘定の主な投資リスク

価格変動リスク	有価証券等の市場価格の変動により、資産価値が減少することがあります。
金利変動リスク	金利水準の変動により、資産価値が減少することがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動により、資産価値が減少することがあります。
信用リスク	有価証券の発行母体の経営・財務状況の悪化等により、資産価値が減少することがあります。
カントリーリスク	有価証券の発行国の政治・経済・社会情勢の変化により、資産価値が減少することがあります。

※投資リスクについては、「特別勘定のしおり」に詳しく記載しておりますのでご確認ください。

特別勘定 純資産総額の内訳

2017年5月末現在

特別勘定の名称	資産配分		純資産総額 (百万円)	特別勘定の名称	資産配分		純資産総額 (百万円)
	有価証券等	現預金その他			有価証券等	現預金その他	
FG新興国重視型20	97.4%	2.6%	1	FG日本株式	97.8%	2.2%	0
FGグローバル型25	91.8%	8.2%	1	FG外国債券円H	97.5%	2.5%	1
FG新興国債券	98.9%	1.1%	1	アジア債券円H	99.7%	0.3%	20
FG新興国株式	96.8%	3.2%	1	FGマネー	67.2%	32.8%	25

※ 資産配分は小数点第2位を四捨五入し、純資産総額は単位未満を切り捨てて表示しています。

特別勘定 ユニットプライスの推移と期間収益率

2017年5月末現在



FG新興国重視型20	SMAM・FG新興国重視型 バランス20VA*1				ユニット プライス	164.47
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	
	0.81%	2.44%	5.64%	7.95%	64.47%	



FGグローバル型25	SMAM・FGグローバル バランス25VA*1				ユニット プライス	157.77
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	
	0.94%	1.67%	4.50%	5.57%	57.77%	



FG新興国債券	SMAM・FG新興国債券 インデックスVA*1				ユニット プライス	175.10
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	
	0.22%	2.98%	5.44%	7.02%	75.10%	



FG新興国株式	SMAM・FG新興国株式 インデックスVA*1				ユニット プライス	135.72
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	
	1.12%	2.31%	9.50%	18.48%	35.72%	



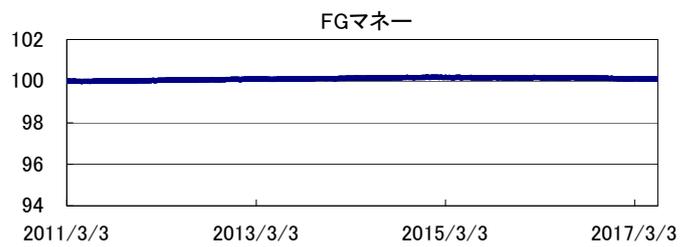
FG日本株式	日経225VA*2				ユニット プライス	232.41
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	
	2.12%	3.44%	7.95%	14.41%	132.41%	



FG外国債券円H	外国債券 インデックス・ファンド/ 為替ヘッジ付きVA4*1				ユニット プライス	112.75
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	
	0.49%	0.51%	0.10%	-1.87%	12.75%	



アジア債券円H	GSアジア・ハイ・イールド 債券ファンド (円ヘッジコース)VA*1				ユニット プライス	137.77
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	
	-0.71%	0.25%	3.65%	7.33%	37.77%	



FGマネー	SMAM・FGマネー ファンドVA*1				ユニット プライス	100.10
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来	
	-0.00%	-0.01%	-0.02%	-0.05%	0.10%	

*1 適格機関投資家限定
*2 適格機関投資家専用

※ ユニットプライスと期間収益率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※ ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをい、特別勘定資産の評価を反映しています。

・変額個人年金保険GF(VII型)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組入ファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

SMAM・FG新興国重視型バランス20VA<適格機関投資家限定>

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

● 基準価額および純資産総額

	5月31日	前月比
基準価額(円)	16,922	140
純資産総額(百万円)	1	0

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	参考指数
1ヵ月	H29.4.28	0.83%	1.14%
3ヵ月	H29.2.28	2.56%	1.97%
6ヵ月	H28.11.30	6.10%	5.88%
1年	H28.5.31	8.58%	8.11%
3年	H26.5.30	18.23%	19.70%
設定来	H23.3.2	69.22%	80.33%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

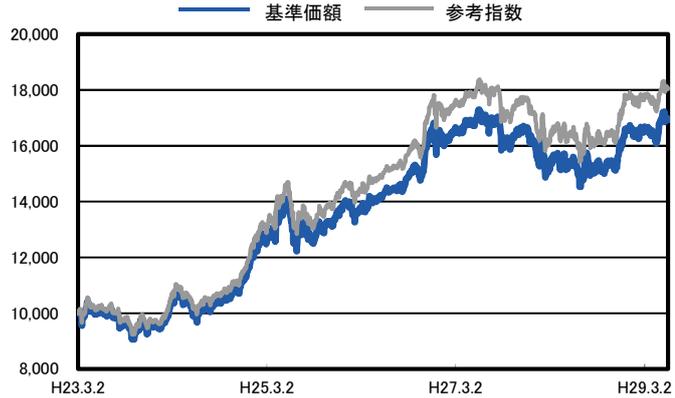
※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● マザーファンド組入比率

	基本資産配分	ファンド
国内株式	5.00%	4.97%
国内債券	5.00%	4.35%
外国株式	5.00%	5.12%
外国債券	30.00%	29.01%
新興国株式	10.00%	10.18%
新興国債券	45.00%	45.25%

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H23.3.3)



■基準価額は、信託報酬控除後です。■上記グラフにおいては、基準価額及び参考指数を、ファンド設定日前日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■参考指数は、TOPIX(東証株価指数、配当込み)、NOMURA-BPI(総合)、MSCIコクサインデックス(税引前配当込み、円ベース)、シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)、FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックス(税引後配当込み、円ベース)*、J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分を元に加重平均し、当社が独自に指数化しております。

*当該指数は以下の通り変更されています。(現在の指数は◆で表示しています。)

◇～平成25年1月10日:MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)◇平成25年1月11日～平成25年6月28日:FTSEエマージング・トランジション・インデックス(税引後配当込み、円ベース)◇平成25年7月1日～平成27年11月2日:FTSEエマージング・インデックス(税引後配当込み、円ベース)◇平成27年11月4日～平成28年9月16日:FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ中国A株トランジション・インデックス(税引後配当込み、円ベース)

◆平成28年9月20日以降:FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックス(税引後配当込み、円ベース)

SMAM・FGグローバルバランス25VA<適格機関投資家限定>

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

● 基準価額および純資産総額

	5月31日	前月比
基準価額(円)	16,298	166
純資産総額(百万円)	1	0

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	参考指数
1ヵ月	H29.4.28	1.03%	1.20%
3ヵ月	H29.2.28	1.73%	2.07%
6ヵ月	H28.11.30	4.68%	5.34%
1年	H28.5.31	5.98%	6.82%
3年	H26.5.30	15.12%	16.78%
設定来	H23.3.2	62.98%	71.67%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

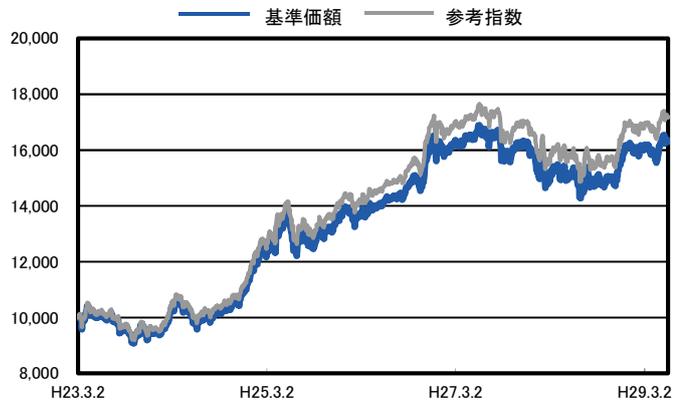
※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● マザーファンド組入比率

	基本資産配分	ファンド
国内株式	5.00%	5.80%
国内債券	10.00%	9.75%
外国株式	10.00%	9.71%
外国債券	40.00%	39.94%
新興国株式	10.00%	10.16%
新興国債券	25.00%	23.79%

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H23.3.3)



■基準価額は、信託報酬控除後です。■上記グラフにおいては、基準価額及び参考指数を、ファンド設定日前日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■参考指数は、TOPIX(東証株価指数、配当込み)、NOMURA-BPI(総合)、MSCIコクサインデックス(税引前配当込み、円ベース)、シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)、FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックス(税引後配当込み、円ベース)*、J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分を元に加重平均し、当社が独自に指数化しております。

*当該指数は以下の通り変更されています。(現在の指数は◆で表示しています。)

◇～平成25年1月10日:MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)◇平成25年1月11日～平成25年6月28日:FTSEエマージング・トランジション・インデックス(税引後配当込み、円ベース)◇平成25年7月1日～平成27年11月2日:FTSEエマージング・インデックス(税引後配当込み、円ベース)◇平成27年11月4日～平成28年9月16日:FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ中国A株トランジション・インデックス(税引後配当込み、円ベース)

◆平成28年9月20日以降:FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックス(税引後配当込み、円ベース)

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。



SMAM・FG新興国債券インデックスVA<適格機関投資家限定>

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券／インデックス型

● 基準価額および純資産総額

	5月31日	前月比
基準価額(円)	17,817	41
純資産総額(百万円)	1	0

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H29.4.28	0.23%	0.78%
3ヵ月	H29.2.28	3.04%	1.45%
6ヵ月	H28.11.30	5.02%	6.54%
1年	H28.5.31	7.38%	9.79%
3年	H26.5.30	19.67%	27.85%
設定来	H23.3.3	78.17%	107.09%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

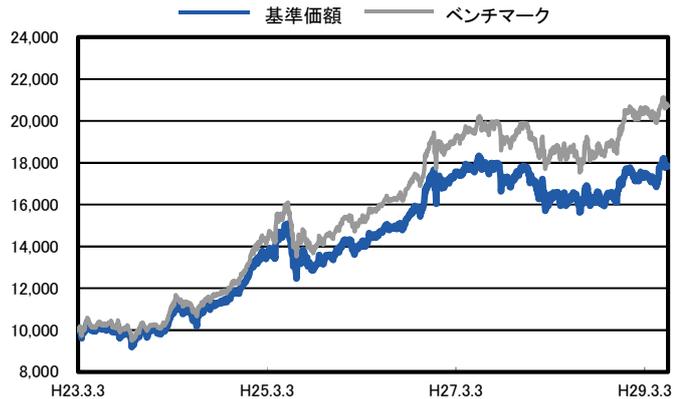
※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● マザーファンド組入比率

	ファンド
新興国債券ETF・マザーファンド	98.61%
現金等	1.39%

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H23.3.3)



■基準価額は、信託報酬控除後です。■ベンチマークは、J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)を指します。■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、ファンド設定日当日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)は、J.P.モルガン社が開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

SMAM・FG新興国株式インデックスVA<適格機関投資家限定>

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式／インデックス型

● 基準価額および純資産総額

	5月31日	前月比
基準価額(円)	12,659	146
純資産総額(百万円)	1	0

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H29.4.28	1.17%	1.51%
3ヵ月	H29.2.28	2.29%	3.39%
6ヵ月	H28.11.30	9.98%	13.25%
1年	H28.5.31	19.21%	24.48%
3年	H26.5.30	9.19%	13.28%
設定来	H23.3.3	26.59%	41.82%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

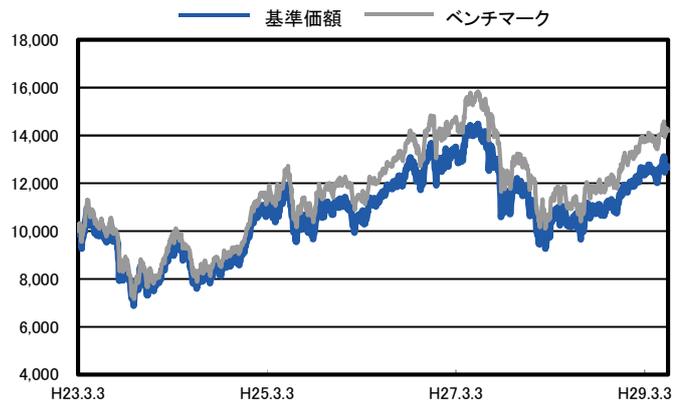
● マザーファンド組入比率

	ファンド
新興国株式ETF・マザーファンド	98.86%
現金等	1.14%

■ベンチマークは、新興国の株式市場の動きを捉える代表的な指標です。同指数の著作権、知的財産権その他一切の権利は、それぞれFTSE社(およびそのライセンサー)、MSCI社に帰属し、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。FTSE社(およびそのライセンサー)、MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用などすることは禁じられています。FTSE社(およびそのライセンサー)、MSCI社は当ファンドとは関係なく、当ファンドから生じるいかなる責任も負いません。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H23.3.3)



■基準価額は、信託報酬控除後です。■ベンチマークはFTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックス(税引後配当込み、円ベース)*です。■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、ファンド設定日当日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

*ベンチマークは以下の通り変更されています。(現在の指数は◆で表示しています。)

◇～平成25年1月10日:MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)◇平成25年1月11日～平成25年6月28日:FTSEエマージング・トランジション・インデックス(税引後配当込み、円ベース)◇平成25年7月1日～平成27年11月2日:FTSEエマージング・インデックス(税引後配当込み、円ベース)◇平成27年11月4日～平成28年9月16日:FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ中国A株トランジション・インデックス(税引後配当込み、円ベース)

◆平成28年9月20日以降:FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックス(税引後配当込み、円ベース)

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的財産権その他一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。

三井住友アセットマネジメント

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

国内株式：国内株式インデックス・マザーファンド(B号)

● 基準価額および純資産総額

	5月31日	前月比
基準価額(円)	23,610	566
純資産総額(百万円)	195,401	-8,118

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

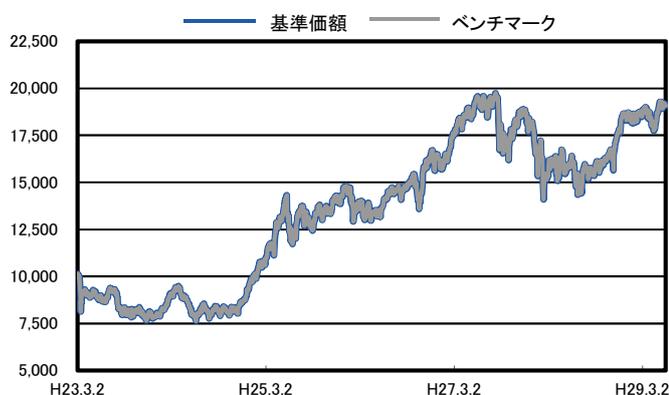
	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H29.4.28	2.46%	2.39%
3ヵ月	H29.2.28	3.15%	3.09%
6ヵ月	H28.11.30	7.99%	7.90%
1年	H28.5.31	16.20%	16.11%
3年	H26.5.30	38.67%	38.77%
設定来	H23.3.2	90.74%	90.80%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※“設定来”の騰落率は、ペーパーファンドの設定日前日(H23.3.2)を基準としています。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H15.2.17)



■ベンチマークは、TOPIX(東証株価指数、配当込み)を指します。■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、平成23年3月2日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■TOPIX(東証株価指数、配当込み)に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。また、本件商品を東京証券取引所が保証するものではありません。

● 資産構成 ※1

	5月31日	前月比
株式	98.2%	-0.4%
先物等	1.7%	0.4%
合計	99.9%	0.0%

● 組入上位業種 ※2

業種名	比率
1 電気機器	13.1%
2 輸送用機器	8.6%
3 情報・通信業	8.2%
4 銀行業	7.7%
5 化学	6.9%
6 機械	5.1%
7 食料品	4.8%
8 小売業	4.8%
9 医薬品	4.7%
10 卸売業	4.3%
その他	31.8%

● 組入上位10銘柄 ※1 (組入全銘柄数 1,638)

銘柄名	比率
1 トヨタ自動車	3.1%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.2%
3 日本電信電話	1.8%
4 ソフトバンクグループ	1.7%
5 三井住友フィナンシャルグループ	1.3%
6 KDDI	1.3%
7 ソニー	1.2%
8 本田技研工業	1.2%
9 日本たばこ産業	1.1%
10 みずほフィナンシャルグループ	1.1%

※1 純資産総額対比

※2 現物株式評価額対比

● 市場動向

株式市場は続伸し、TOPIX(配当込み)の月間騰落率は+2.39%となりました。

月初は、フランス大統領選挙が予想通りの結果で終了したことを受けた米ドル高・円安の進展や、国内企業の2017年3月期決算が概ね堅調であったことを好感し、株価は上昇しました。中旬には、米トランプ大統領によるFBI長官の解任に端を発した政治的混乱や北朝鮮のミサイル発射などが嫌気され、一時的に株価が軟調になる場面がありました。その後株価は持ち直しましたが、下旬には、OPEC(石油輸出国機構)総会における減産延長合意が想定内にとどまり原油価格が反落したこと、FOMC(米連邦公開市場委員会)議事要旨や米国インフレ指標の伸び悩みを背景とした米国長期金利の低下を受けた米ドル安・円高により、株価は上値の重い展開となりました。業種別では、その他製品、食料品、情報・通信業などが市場をアウトパフォームした一方、海運業、石油・石炭製品、鉱業などが市場をアンダーパフォームしました。

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

国内債券：国内債券パッシブ・マザーファンド

● 基準価額および純資産総額

	5月31日	前月比
基準価額(円)	12,541	-24
純資産総額(百万円)	229,372	11,976

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

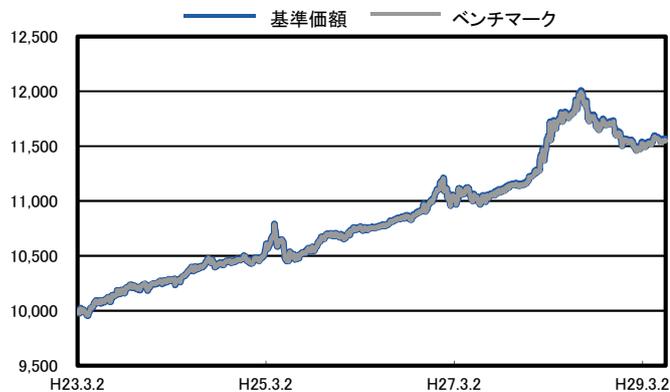
	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H29.4.28	-0.19%	-0.21%
3ヵ月	H29.2.28	0.19%	0.17%
6ヵ月	H28.11.30	-0.61%	-0.63%
1年	H28.5.31	-2.04%	-2.08%
3年	H26.5.30	7.20%	7.10%
設定来	H23.3.2	15.62%	15.48%

※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※“設定来”の騰落率は、ペーパーファンドの設定日前日(H23.3.2)を基準としています。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H17.6.10)



■ベンチマークは、NOMURA-BPI(総合)を指します。■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、平成23年3月2日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■NOMURA-BPI(総合)は、野村證券が公表している指数で、野村證券の知的財産です。野村證券は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任ありません。

● 資産構成 ※1

	5月31日	前月比
債券	99.3%	-0.2%
先物等	0.0%	0.0%
合計	99.3%	-0.2%

● ポートフォリオの状況

平均クーポン	1.28%
平均修正デュレーション	8.85年
平均利回り	0.15%

● 債券種別構成 ※2

国債	74.5%
政府保証債	6.6%
地方債	9.8%
金融債	1.4%
事業債	5.7%
円建外債	0.4%
その他	1.5%

● 残存年限別構成 ※2

1年未満	3.3%
1-3年	14.7%
3-5年	18.2%
5-7年	10.9%
7-10年	16.6%
10年以上	36.3%

※1 純資産総額対比

※2 現物債券評価額対比

● 市場動向

長期金利(10年国債利回り)は前月末の0.015%から0.040%へと上昇しました。

月初の長期金利は、フランス大統領選への警戒感から前月末とほぼ横ばいで推移しました。連休中に行われたフランス大統領選挙が波乱なく終わったことから、連休明け以降は金利上昇余地を試す展開となりました。国内長期金利は一時0.0%台半ばへ上昇する場面もありましたが、中旬以降月末にかけては、米国では政策期待の後退、欧州では力強さに欠ける期待インフレ率が意識され、海外金利が低下基調となる中で、国内長期金利は0.0%台前半での狭い範囲での変動にとどまりました。

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

外国株式：外国株式インデックス・マザーファンド

● 基準価額および純資産総額

	5月31日	前月比
基準価額(円)	30,751	464
純資産総額(百万円)	199,712	-6,247

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H29.4.28	1.53%	1.59%
3ヵ月	H29.2.28	3.25%	3.38%
6ヵ月	H28.11.30	11.59%	11.76%
1年	H28.5.31	16.49%	16.77%
3年	H26.5.30	29.92%	30.91%
設定来	H23.3.2	130.48%	134.21%

※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※“設定来”の騰落率は、ペーパーファンドの設定日前日(H23.3.2)を基準としています。

● 資産構成 ※1

	5月31日	前月比
株式	97.9 %	-0.3 %
先物等	2.0 %	0.5 %
合計	99.9 %	0.2 %

● 国別投資比率 ※2

アメリカ	61.6 %
イギリス	7.0 %
フランス	4.1 %
スイス	3.9 %
ドイツ	3.9 %
その他	19.5 %

● 市場動向

5月の米国市場は小幅に上昇しました。

月中旬にかけては、企業決算の動向を睨みつつ、株価は高値圏でのみ合い推移となりました。月後半には、トランプ政権とロシアとの関係について議会やマスコミから深刻な不適切性が指摘され、大統領の弾劾が取り沙汰されると、政権運営への懸念が拡大し、市場は一時的に下落しました。その後月末にかけては、米国の景気に対する楽観的な見方が根強い中、米国市場は上昇に転じ、S&P500指数は最高値を更新しました。

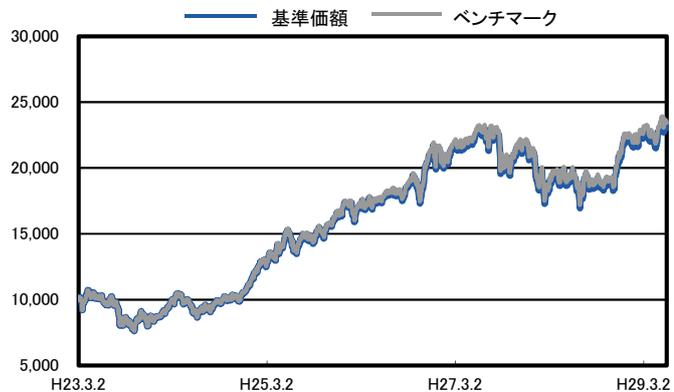
欧州市場は小幅に上昇しました。

月初は前月末に行われたフランス大統領選挙の第一回投票の結果を受け、市場に安心感が拡がり株価は上昇しました。7日に実施された決選投票では、EU(欧州連合)を支持するマクロン候補が勝利しましたが、大方の事前予想に沿った形となったことから、市場の反応は限定的でした。その後はトランプ大統領の政権運営に対する不安感が拡大したこともあり、上値の重い展開が続きました。

(為替) 当月末の米ドル/円は前月末より円高の110円台後半となり、ユーロ/円は前月末より円安の123円台後半となりました。米ドルは政治の不透明感や地政学リスクで上値を抑えられる一方、今後の金融緩和の縮小が見込まれるユーロは主要通貨に対し堅調に推移しました。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H15.5.19)



■ベンチマークは、MSCIコクサイインデックス(税引前配当込み、円ベース)を指します。■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、平成23年3月2日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■MSCIコクサイインデックス(税引前配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

● 組入上位10銘柄 ※1

(組入全銘柄数 1,330)

銘柄名	国名	業種	比率
1 APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	2.4 %
2 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.5 %
3 AMAZON.COM INC	アメリカ	小売	1.2 %
4 FACEBOOK INC-A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.0 %
5 JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	1.0 %
6 EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	1.0 %
7 ALPHABET INC-CL C	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.9 %
8 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	0.9 %
9 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.9 %
10 NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	0.8 %

※1 純資産総額対比

※2 現物株式評価額対比(外貨建リートを含む)

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

外国債券：外国債券パッシブ・マザーファンド

● 基準価額および純資産総額

	5月31日	前月比
基準価額(円)	16,992	248
純資産総額(百万円)	207,129	-2,444

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

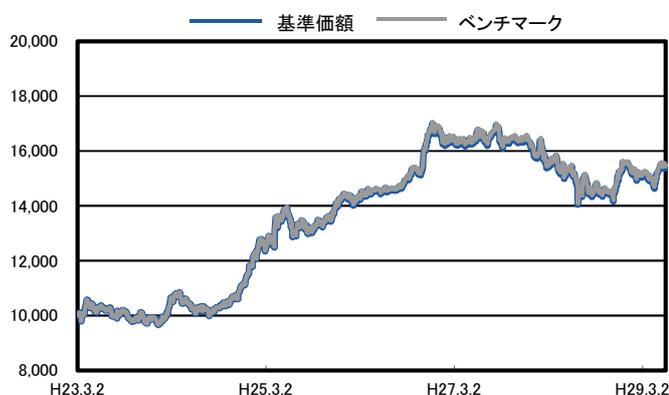
	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H29.4.28	1.48%	1.50%
3ヵ月	H29.2.28	2.12%	2.14%
6ヵ月	H28.11.30	2.27%	2.30%
1年	H28.5.31	-0.35%	-0.41%
3年	H26.5.30	6.06%	6.12%
設定来	H23.3.2	53.93%	54.54%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※“設定来”の騰落率は、ペビーファンドの設定日前日(H23.3.2)を基準としています。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H15.12.18)



■ベンチマークは、シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)を指します。

■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、平成23年3月2日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、Citigroup Index LLCが開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

● 資産構成 ※1

	5月31日	前月比
債券	98.9%	0.7%
先物等	0.0%	0.0%
合計	98.9%	0.7%

● ポートフォリオの状況

平均残存年数	8.89年
平均修正デュレーション	6.98年
平均利回り	1.30%

● 通貨別構成 ※2

アメリカドル	43.8%
ユーロ	40.2%
イギリス 債券	7.3%
オーストラリアドル	2.1%
カナダドル	2.1%
その他	4.4%

● 残存年限別構成 ※2

1年未満	1.0%
1-3年	25.7%
3-7年	34.5%
7-10年	13.2%
10年以上	25.6%

※1 純資産総額対比

※2 現物債券評価額対比

● 市場動向

当月末(現地5月30日)の米国10年国債利回りは前月末より低水準の2.21%となり、ドイツ10年国債利回りは前月末より低水準の0.29%となりました。

米国では、6月の利上げが示唆されたFOMC(米連邦公開市場委員会)声明文や雇用者数の堅調な伸びが確認された雇用統計などを材料に金利は上昇しましたが、その後は、インフレ指標の下振れやトランプ政権によるロシアへの機密情報漏洩疑惑などに対する懸念から金利は低下し、月末にかけても低位での推移となりました。

ユーロ圏では、フランス大統領選挙において親EU(欧州連合)のマクロン候補が勝利したことで市場に安心感が広がり、金利は上昇しましたが、その後は米国金利の低下やドラギECB(欧州中央銀行)総裁のハト派(景気を重視する立場)的な発言などから低下基調となりました。

(為替)当月末(5月31日)の米ドル/円は前月末より円高の110円台後半となり、ユーロ/円は前月末より円安の123円台後半となりました。米ドルは政治の不透明感や地政学リスクで上値を抑えられる一方、今後の金融緩和の縮小が見込まれるユーロは主要通貨に対し堅調に推移しました。

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。

 三井住友アセットマネジメント

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

新興国株式：新興国株式ETF・マザーファンド

● 基準価額および純資産総額

	5月31日	前月比
基準価額(円)	13,388	159
純資産総額(百万円)	1	0

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H29.4.28	1.20%	1.51%
3ヵ月	H29.2.28	2.48%	3.39%
6ヵ月	H28.11.30	10.44%	13.25%
1年	H28.5.31	20.05%	24.48%
3年	H26.5.30	11.80%	13.28%
設定来	H23.3.3	33.88%	41.82%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● 投資信託証券組入比率

	ファンド
バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF	97.08%
現金等	2.92%

■ベンチマークは、新興国の株式市場の動きを捉える代表的な指標です。同指数の著作権、知的財産権その他一切の権利は、それぞれFTSE社(およびそのライセンサー)、MSCI社に帰属し、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。FTSE社(およびそのライセンサー)、MSCI社の許諾なしに同指数の一部または全部を複製、頒布、使用などすることは禁じられています。FTSE社(およびそのライセンサー)、MSCI社は当ファンドとは関係なく、当ファンドから生じるいかなる責任も負いません。

● 市場動向

5月の新興国株式市場は総じて上昇しました。

テクノロジーを中心とした好調な企業業績や、フランスの大統領選挙を波乱なく終え欧州政治リスクが後退したことが支援材料となりました。

アジア市場は上昇しました。

MSCI中国指数は上昇しました。中国が主導するシルクロード経済圏構想「一帯一路」国際サミットが開催され、インフラ企業や銀行などの銘柄が上昇しました。韓国も上昇しました。新たに就任した文在寅大統領の景気刺激策への期待から大幅上昇となりました。

ラテンアメリカ市場はまちまちな動きでした。

ブラジルは下落しました。テメル大統領に対して、クーニャ元下院議長の汚職事件の捜査妨害に関与していた疑いが浮上り、財政再建や規制緩和が頓挫する懸念が高まりました。メキシコは下落しました。18日に米国のトランプ大統領がNAFTA(北米自由貿易協定)の再交渉に向けた手続きを開始したことで米国との通商政策に不透明感が高まりました。

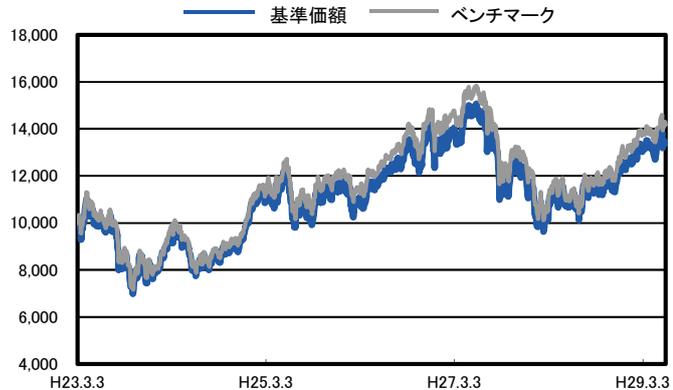
南アフリカ・ロシア・東欧市場はまちまちな動きでした。

ロシアは下落しました。OPEC(石油輸出国機構)の減産合意が市場予想の範囲内にとどまり、原油価格が軟調に推移したことが嫌気されました。トルコは上昇しました。中旬に発表された鋳工業生産は市場予想を上回り、今後も主要輸出先である欧州の景気拡大でトルコからの輸出が増加するとの見方が広がりました。

(為替) 当月末の米ドル/円は前月末より円高の110円台後半となりました。米国政治を巡る不透明感や北朝鮮などでの地政学リスクで米ドルの上値が抑えられました。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H23.3.3)



■ベンチマークはFTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックス(税引後配当込み、円ベース)*です。■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、ファンド設定日当日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

*ベンチマークは以下の通り変更されています。(現在の指数は◆で表示しています。)

◇～平成25年1月10日:MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)◇平成25年1月11日～平成25年6月28日:FTSEエマージング・トランジション・インデックス(税引後配当込み、円ベース)◇平成25年7月1日～平成27年11月2日:FTSEエマージング・インデックス(税引後配当込み、円ベース)◇平成27年11月4日～平成28年9月16日:FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ中国A株トランジション・インデックス(税引後配当込み、円ベース)

◆平成28年9月20日以降:FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックス(税引後配当込み、円ベース)

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

新興国株式：新興国株式ETF・マザーファンド

(ご参考) バンガード・FTSE・エマーシング・マーケットETF の状況

● 騰落率

	基準日	ETF	ベンチマーク	円/米ドル
1ヵ月	H29.4.28	1.86%	1.51%	-0.30%
3ヵ月	H29.2.28	3.84%	3.39%	-1.42%
6ヵ月	H28.11.30	12.76%	13.25%	-1.30%
1年	H28.5.31	24.91%	24.48%	0.02%
3年	H26.5.30	13.61%	13.28%	9.15%
設定来	H17.3.11	133.52%	149.23%	6.51%

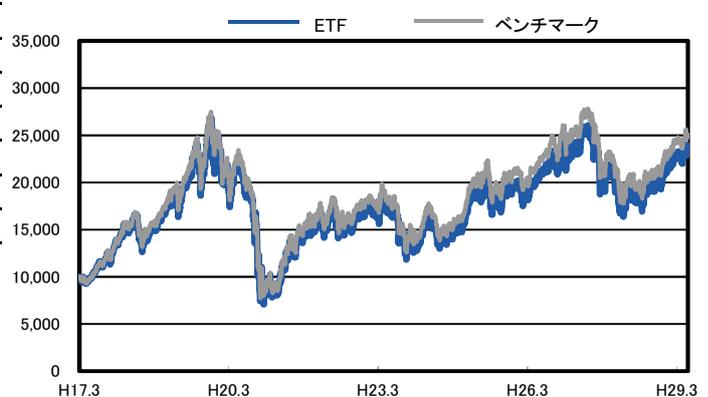
※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※ 円/米ドルは、一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値(TTM)を用いて計算しています。

■ベンチマークは、新興国の株式市場の動きを捉える代表的な指標です。同指数の著作権、知的財産権その他一切の権利は、それぞれFTSE社(およびそのライセンサー)、MSCI社に帰属し、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。FTSE社(およびそのライセンサー)、MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用などすることは禁じられています。FTSE社(およびそのライセンサー)、MSCI社は当ファンドとは関係なく、当ファンドから生じるいかなる責任も負いません。

● 時価(円ベース)の推移

(ファンド設定日 H17.3.11)



■ベンチマークはFTSEエマーシング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックス(税引後配当込み、円ベース)*です。■上記グラフにおいては、ETFの時価及びベンチマークを、ETF設定日当日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■ETFの時価(円ベース)は、バンガード・FTSE・エマーシング・マーケットETF(米ドル建て)の時価を当社が独自に円換算したものです。

*ベンチマークは以下の通り変更されています。(現在の指数は◆で表示しています。)

◇～平成25年1月10日:MSCIエマーシング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)◇平成25年1月11日～平成25年6月28日:FTSEエマーシング・トランジション・インデックス(税引後配当込み、円ベース)◇平成25年7月1日～平成27年11月2日:FTSEエマーシング・インデックス(税引後配当込み、円ベース)◇平成27年11月4日～平成28年9月16日:FTSEエマーシング・マーケット・オールキャップ中国A株トランジション・インデックス(税引後配当込み、円ベース)

◆平成28年9月20日以降:FTSEエマーシング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックス(税引後配当込み、円ベース)

● 国別投資比率 (基準日 H29.4.30)

1 中国	28.0%
2 台湾	15.7%
3 インド	12.2%
4 ブラジル	8.4%
5 南アフリカ	7.8%
6 メキシコ	4.1%
7 ロシア	4.0%
8 タイ	3.8%
9 マレーシア	3.5%
10 インドネシア	2.8%

● 組入上位10銘柄

(基準日 H29.4.30)

銘柄名
1 Tencent Holdings Ltd.
2 Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.
3 Naspers Ltd.
4 China Construction Bank Corp.
5 China Mobile Ltd.
6 Hon Hai Precision Industry Co. Ltd.
7 Industrial & Commercial Bank of China Ltd.
8 Itau Unibanco Holding SA
9 Housing Development Finance Corp. Ltd.
10 Bank of China Ltd.

(組入全銘柄数 4,526)

※Vanguardおよびデータストリームのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

新興国債券：新興国債券ETF・マザーファンド

● 基準価額および純資産総額

	5月31日	前月比
基準価額(円)	19,739	51
純資産総額(百万円)	2	0

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H29.4.28	0.26%	0.78%
3ヵ月	H29.2.28	3.15%	1.45%
6ヵ月	H28.11.30	7.82%	6.54%
1年	H28.5.31	12.58%	9.79%
3年	H26.5.30	28.95%	27.85%
設定来	H23.3.3	97.39%	107.09%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● 投資信託証券組入比率

	ファンド
iシェアーズ J.P.モルガン・ミドル建て エマージング・マーケット債券 ETF	96.37%
現金等	3.63%

● 市場動向

当月の新興国債券市場は上昇(金利は低下)しました。

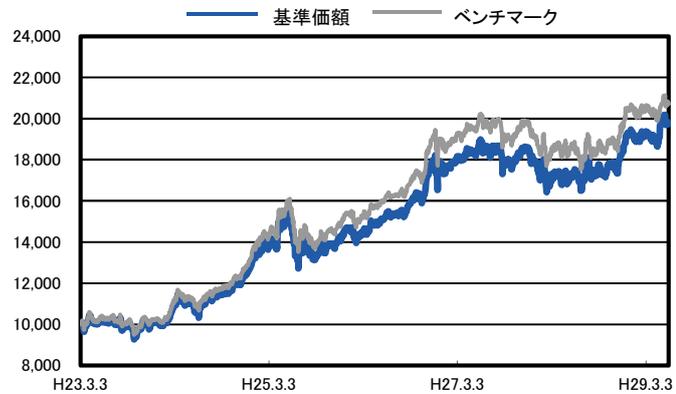
米国国債市場は上昇しました。インフレ指標の下振れやトランプ政権によるロシアへの機密情報漏洩疑惑などに対する懸念から利回りは低下しました。

新興国債券の対米国国債スプレッド(上乗せ金利)は小幅に拡大しました。

(為替)当月末の米ドル/円は前月末より円高の110円台後半となりました。米国政治を巡る不透明感や北朝鮮などでの地政学リスクで上値が抑えられました。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H23.3.3)



■ベンチマークは、J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)を指します。■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、ファンド設定日当日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)は、J.P.モルガン社が開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

新興国債券：新興国債券ETF・マザーファンド

(ご参考) iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 ETFの状況

(基準日 H29.5.30)

● 騰落率

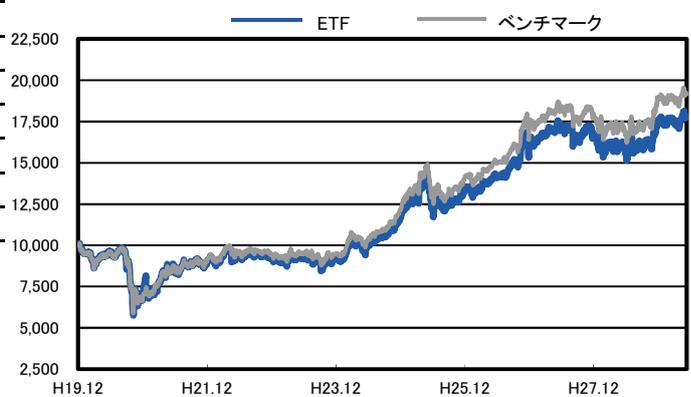
	基準日	ETF	ベンチマーク	円/米ドル
1ヵ月	H29.4.28	0.71%	0.78%	-0.30%
3ヵ月	H29.2.28	1.47%	1.45%	-1.42%
6ヵ月	H28.11.30	6.40%	6.54%	-1.30%
1年	H28.5.31	9.13%	9.79%	0.02%
3年	H26.5.30	25.43%	27.85%	9.15%
設定来	H19.12.20	77.70%	91.60%	-2.13%

※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※ 円/米ドルは、一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値(TTM)を用いて計算しています。

● 時価(円ベース)の推移

(ファンド設定日 H19.12.20)



■ベンチマークは、J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)を指します。■上記グラフにおいては、ETFの時価及びベンチマークを、ETF設定日当日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■ETFの時価(円ベース)は、iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ETFの時価を当社が独自に円換算したものです。■J.P.モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)は、J.P.モルガン社が開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ETFを同社が保証するものではありません。

● ポートフォリオの状況

平均残存年数	10.75 年
平均クーポン	5.92%
平均デュレーション	6.94 年
組入全銘柄数	367

● 国別構成

1 メキシコ	6.2%
2 インドネシア	5.1%
3 トルコ	4.7%
4 ロシア	4.5%
5 フィリピン	4.1%
6 中国	4.0%
7 アルゼンチン	3.9%
8 ブラジル	3.8%
9 コロンビア	3.6%
10 ハンガリー	3.5%

● 残存年限別構成

1年未満	0.2%
1-5年	26.0%
5-10年	41.3%
10-15年	8.8%
15-20年	6.4%
20-25年	5.0%
25年以上	12.3%

● 組入上位10銘柄

銘柄名	格付(S&P/Moody's)	種別	クーポン(%)	償還日	比率
1 ロシア国債	BB+/Ba1	国債	7.50	2030/3/31	1.4%
2 ウルグアイ国債	BBB/Baa2	国債	5.10	2050/6/18	1.0%
3 ハンガリー国債	BBB-/Baa3	国債	6.38	2021/3/29	0.9%
4 ポーランド国債	BBB+/A2	国債	5.00	2022/3/23	0.9%
5 アルゼンチン国債	B/B3	国債	7.50	2026/4/22	0.8%
6 ペルー国債	BBB+/A3	国債	8.75	2033/11/21	0.8%
7 ペルー国債	BBB+/A3	国債	5.63	2050/11/18	0.8%
8 コロンビア国債	BBB/Baa2	国債	5.00	2045/6/15	0.7%
9 ポーランド国債	BBB+/A2	国債	6.38	2019/7/15	0.7%
10 ルーマニア国債	BBB-/Baa3	国債	6.75	2022/2/7	0.7%

※iSharesおよびデータストリームのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

日経225VA(適格機関投資家専用)

【投信協会商品分類】追加型投信/国内/株式/インデックス型

● 基準価額および純資産総額

	5月31日	前月比
基準価額(円)	24,302	540
純資産総額(百万円)	2,093	117

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド	ベンチマーク
1ヵ月	H29.4.28	2.27%	2.36%
3ヵ月	H29.2.28	3.11%	2.78%
6ヵ月	H28.11.30	7.69%	7.33%
1年	H28.5.31	14.75%	14.02%
3年	H26.5.30	37.98%	34.30%
設定来	H14.9.20	143.02%	107.26%

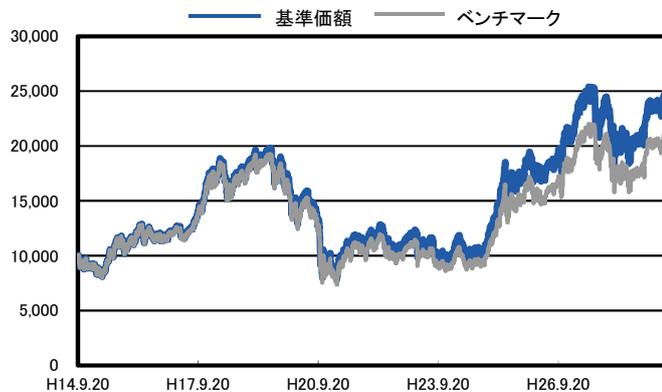
※騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

※“設定来”の騰落率は、ファンドの設定日前日(H14.9.20)を基準としています。

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H14.9.24)



■基準価額は、信託報酬控除後です。■ベンチマークは、日経平均株価を指します。
 ■上記グラフにおいては、基準価額及びベンチマークを、平成14年9月20日を10000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。■「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。また、本件商品を日本経済新聞社が保証するものではありません。

● 資産構成 ※1

	5月31日	前月比
株式	92.9%	0.1%
先物等	7.1%	0.0%
合計	100.0%	0.1%

● 組入上位業種 ※2

業種名	比率
1 電気機器	18.2%
2 情報・通信業	12.4%
3 小売業	10.5%
4 化学	8.9%
5 医薬品	7.7%
6 輸送用機器	6.3%
7 食料品	5.3%
8 機械	5.1%
9 サービス業	3.2%
10 精密機器	3.0%
その他	19.5%

● 組入上位10銘柄 ※1 (組入全銘柄数 225)

銘柄名	比率
1 ファーストリテイリング	6.7%
2 ソフトバンクグループ	4.9%
3 ファナック	3.9%
4 KDDI	3.3%
5 東京エレクトロン	2.8%
6 京セラ	2.3%
7 ダイキン工業	2.0%
8 信越化学工業	1.8%
9 テルモ	1.6%
10 日東電工	1.6%

※1 純資産総額対比

※2 現物株式評価額対比

● 市場動向

日経平均株価は月間で2.36%の上昇となりました。

月初は、フランス大統領選挙が予想通りの結果で終了したことを受けた米ドル高・円安の進展や、国内企業の2017年3月期決算が概ね堅調であったことを好感し、株価は上昇しました。中旬には、米トランプ大統領によるFBI長官の解任に端を発した政治的混乱や北朝鮮のミサイル発射などが嫌気され、一時的に株価が軟調になる場面がありました。その後株価は持ち直しましたが、下旬には、OPEC(石油輸出国機構)総会における減産延長合意が想定内にとどまり原油価格が反落したこと、FOMC(米連邦公開市場委員会)議事要旨や米国インフレ指標の伸び悩みを背景とした米国長期金利の低下を受けた米ドル安・円高により、株価は上値の重い展開となりました。

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

外国債券インデックス・ファンド／為替ヘッジ付きVA4＜適格機関投資家限定＞

月次運用報告書

追加型投信／海外／債券／インデックス型

基準価額	11,396円
純資産総額	1百万円
銘柄数(マザーファンド)	475
マザー受益証券投資比率	100.8%
信託報酬率	0.2484%(税抜0.23%)

マザー純資産総額	178,561百万円
推定トラッキングエラー	0.02%

＜商品の特色＞

◆投資目的

「外国債券インデックス・マザー・ファンド」受益証券を通じて、主として日本を除く世界主要先進国の国債、政府機関債などに投資し、外貨建資産については原則として為替ヘッジを行うことにより、シティ世界国債指数(除く日本、円ヘッジベース)に連動する投資成果を目指します。

◆投資対象

外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券を主たる投資対象とします。

＜5月の市場概況＞

5月の海外債券市場は、米国政治に対する不透明感の高まりが債券の買い材料となりました。

米国債券市場は、小売売上高が事前予想を下回ったことや住宅関連の指標が悪化するなど経済指標が軟調である中、朝鮮半島を中心とした地政学的リスクや、トランプ米大統領のロシア疑惑を受けて米国政治に対する不透明感が高まったことを背景に債券が買われました。米国10年債利回りは前月末から0.08%低下の2.20%となりました。

欧州債券市場は、ユーロ圏購買担当者景気指数(PMI)が事前予想を上回った一方、ユーロ圏鉱工業生産指数が事前予想を下回るなど経済指標が強弱交錯する中、フランス大統領選挙の決選投票でマクロン元経済産業デジタル相が当選したことを受けて欧州連合(EU)から離脱するとの警戒感が後退した一方で、米国政治に対する不透明感の影響を受けるなど、独国債が方向性に欠ける展開になりました。英国債券市場は、鉱工業生産が事前予想を下回った一方、小売売上高(除く燃料)が事前予想を上回って上昇するなど経済指標が強弱交錯する中、総選挙の世論調査で与党と最大野党の支持率の差が縮小するなど政治情勢の不透明感を背景に債券が買われました。独10年国債利回りは前月末から0.02%低下の0.30%、英10年国債利回りは0.04%低下の1.05%となりました。

設定来の基準価額(税引前分配金込)の推移



※基準価額は信託報酬控除後です。

※ベンチマークはシティ世界国債指数(除く日本、円ヘッジベース)で、2012年1月23日を10,000として換算し直しています。

一般特性値		国別構成比※	
平均最終利回り	1.32%	アメリカ	43.67%
平均デュレーション	7.04	カナダ	2.12%
平均格付け	AA	メキシコ	0.90%
		オーストラリア	2.14%
		シンガポール	0.37%
		マレーシア	0.43%
		イタリア	9.64%
		ドイツ	7.20%
		フランス	9.94%
		イギリス	7.30%
		スペイン	5.69%
		ベルギー	2.55%
		オランダ	2.25%
		オーストリア	1.52%
		デンマーク	0.62%
		スウェーデン	0.45%
		スイス	0.17%
		フィンランド	0.60%
		アイルランド	0.82%
		ポーランド	0.67%
		ノルウェー	0.28%
		南アフリカ	0.54%

※比率はマザーファンドの純資産総額対比です。

基準価額騰落率(税引前分配金込)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	2年	3年	設定来
ファンド	0.51%	0.65%	0.22%	-1.67%	0.93%	5.84%	13.96%
ベンチマーク	0.52%	0.85%	0.74%	-0.70%	2.48%	7.99%	17.44%
差	-0.01%	-0.20%	-0.52%	-0.96%	-1.55%	-2.15%	-3.48%

※ファンドの騰落率は信託報酬控除後の基準価額より算出しています。

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に外国の公社債に投資するため、組入れた公社債の値動きおよび為替変動により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

設定・運用:ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

【組入投資信託の運用概況】

2017年5月31日現在

GSアジア・ハイ・イールド債券ファンド(円ヘッジコース)VA<適格機関投資家限定>

ファンドの特色

- ①当ファンドは、投資信託証券を通じて、主として日本を除くアジアの企業が発行する米ドル建てハイ・イールド債券に投資します。
 * 組入れ投資信託証券では、米ドル建て以外の資産に投資することがあります。米ドル建て以外の外貨建資産に投資を行った場合は、原則として対米ドルで為替ヘッジを行います。
- ②外貨建資産については、対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

運用実績

設定来の実績（設定日：2012年1月17日）

基準価額 14,074円 純資産総額 20.3百万円

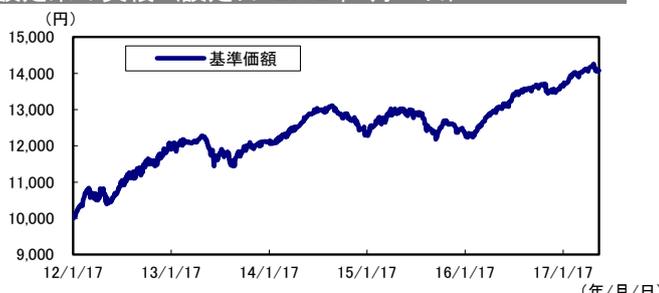
信託設定日 2012年1月17日 信託期間 2021年10月25日まで
 決算日 毎年10月25日(ただし、休業日の場合は翌営業日。)

期間別騰落率

期間	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.71%	0.39%	4.03%	8.01%	10.42%	40.74%

分配金の推移(1万口当たり、税引前)

決算期	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	設定来
決算月	2012/10	2013/10	2014/10	2015/10	2016/10	累計
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円



※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。上記の基準価額は信託報酬控除後のものです。分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

<組入れファンド> アジア・ハイ・イールド・ボンド・サブ・トラストの実績

2017年5月末現在

◆ポートフォリオの資産構成

アジア・ハイ・イールド債券等	94.1%
現金等	5.9%

◆ポートフォリオの状況

組入銘柄数	87銘柄
デュレーション*1	3.18年
最終平均利回り*1	6.09%
平均格付け*1	B-格

◆国別比率

国名	比率
中国	16.7%
インド	15.9%
インドネシア	13.8%
香港	10.0%
シンガポール	8.5%
フィリピン	6.9%
韓国	2.8%
バングラデシュ	2.6%
モンゴル	2.2%
ベトナム	2.0%
日本	1.6%
マカオ	1.3%
タイ	0.3%
その他	9.7%
現金等	5.9%

◆格付*2別比率

格付け	比率
AA	0.1%
A	-
BBB	2.5%
BB	23.3%
B	29.9%
CCC	4.1%
CC以下	0.8%
NA	33.5%
現金等	5.9%

◆業種(セクター)*3比率

業種(セクター)	比率	業種(セクター)	比率
不動産	19.9%	公益事業	5.3%
消費(景気循環型)	14.3%	商工業	3.1%
エネルギー	14.1%	基礎資材	3.1%
消費(非景気循環型)	13.3%	多角経営	2.6%
金融業	9.1%	政府機関	2.0%
通信	5.4%	テクノロジー	1.9%
		現金等	5.9%

◆組入れ上位銘柄

	銘柄名	国名	クーポン	償還日	業種(セクター)*3	格付け*2	比率
1	GREENKO DUTCH	インド	8.0000%	2019/8/1	エネルギー	B+	4.8%
2	DELTA INVESTMENT HORIZON	インドネシア	3.0000%	2020/5/26	金融業	NA	3.6%
3	MCE FINANCE	香港	5.0000%	2021/2/15	消費(景気循環型)	BB-	2.8%
4	STUDIO CITY CO LTD	香港	7.2500%	2021/11/30	消費(景気循環型)	B+	2.7%
5	NEERG ENERGY LTD	インド	6.0000%	2022/2/13	エネルギー	B+	2.7%
6	BANGLALINK DIGITAL COMMUNICATIONS	バングラデシュ	8.6250%	2019/5/6	通信	BB-	2.6%
7	ROYAL CAPITAL	フィリピン	5.5000%	2049/12/31	消費(非景気循環型)	NA	2.5%
8	LISTRINDO CAPITAL	インドネシア	4.9500%	2026/9/14	公益事業	BB	2.1%
9	CHINA EVERGRANDE GROUP	中国	8.2500%	2022/3/23	不動産	B-	2.1%
10	LIPPO MALLS INDONESIA RETAIL TRUST	シンガポール	7.0000%	2049/12/31	金融業	NA	2.1%

*1 現金等を含みます。 *2 格付けは、S&Pおよびフィッチ・レーティングスのいずれかの格付機関の低い方の格付けを使用しています。 *3 セクターは、Bloombergのセクター分類を使用しています。

※最終平均利回りとは、ポートフォリオに組み入れられているすべての債券が、デフォルト(債務不履行)等することなく償還日において償還されると仮定して計算された年平均の利回りです。上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場動向等を勘案して随時変更されます。

運用コメント

<アジア・ハイ・イールド市場>

5月のアジア・ハイ・イールド市場は、米国債の利回りが低下(価格は上昇)したものの、スプレッド(米国債に対する上乗せ金利)が拡大したため、トータル・リターンはマイナスとなりました。

上旬は、4月の米雇用統計における非農業部門雇用者数が市場予想を上回ったことや、仏大統領選挙の決選投票において、EU(欧州連合)との関係強化を重視する中道系のマクロン氏が優勢との見方が強まったことなどを背景に、米国債の利回りは上昇しました。中旬は、4月の小売売上高が市場予想を下回ったほか、トランプ政権とロシアの不適切な関係をめぐる疑惑に関する報道が相次ぎ、政権運営への不安が高まったことなどから利回りは低下しました。下旬は概ねレンジ内での推移となり、月間では利回りは低下する結果となりました。アジア・ハイ・イールド市場は、トランプ政権とロシアをめぐる疑惑などを背景に投資家のリスク選好度が低下し、スプレッドは拡大しました。

■本資料は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

運用：ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

SMAM・FGマネーファンドVA<適格機関投資家限定>

【投信協会商品分類】 追加型投信／国内／資産複合

● 基準価額および純資産総額

	5月31日	前月比
基準価額(円)	10,014	-1
純資産総額(百万円)	192	15

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	ファンド
1ヵ月	H29.4.28	-0.01%
3ヵ月	H29.2.28	-0.02%
6ヵ月	H28.11.30	-0.04%
1年	H28.5.31	-0.09%
3年	H26.5.30	-0.07%
設定来	H23.3.3	0.14%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

※ 上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● 信託報酬率(年率)

(05/31現在) 0.0000%

※上記信託報酬率は税抜きです。

● 資産構成 ※1

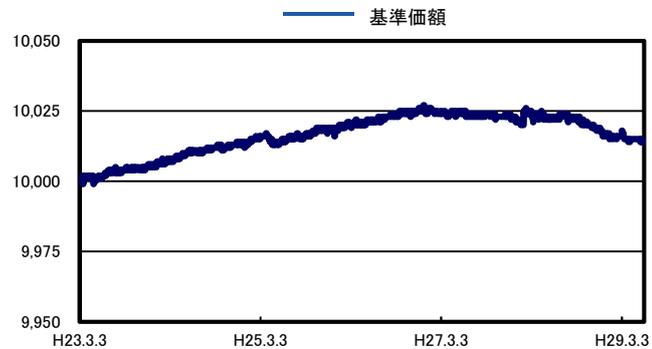
	5月31日	前月比
債券	76.1%	1.6%
先物等	0.0%	0.0%
合計	76.1%	1.6%

● ポートフォリオの状況

平均カーボン	1.01%
平均修正デュレーション	0.38年
平均利回り	-0.02%

● 基準価額の推移

(ファンド設定日 H23.3.3)



■基準価額は、信託報酬控除後です。■上記グラフにおいては、基準価額を、ファンド設定日当日を10,000として表示しております。■上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 債券種別構成 ※2

国債	0.0%
政府保証債	100.0%
地方債	0.0%
金融債	0.0%
事業債	0.0%
円建外債	0.0%
その他	0.0%

● 残存年限別構成 ※2

1年未満	89.8%
1-3年	10.2%
3-5年	0.0%
5-7年	0.0%
7-10年	0.0%
10年以上	0.0%

※1 純資産総額対比

※2 現物債券評価額対比

■このレポートは、三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

ご負担いただく費用について

この商品では、以下の諸費用の合計額をご負担いただきます。

●ご契約時の費用

項目	費用
契約初期費用	ご契約の締結や代理店手数料の支払い等に必要な費用 一時払保険料に対して4.0%

●積立期間中の費用

項目	費用
保険関係費用* ¹ (保険契約管理費)	ご契約の維持・管理や代理店手数料の支払い等に必要な費用 基本保険金額に対して年率2.3%* ²
資産運用関係費用	特別勘定の運用に必要な費用 (特別勘定ごとに費用が異なります。詳しくは、「特別勘定の内容」をご覧ください) 投資信託の純資産総額に対して 左記費用を毎日控除します

●年金受取期間中の費用(主契約および年金支払特約)

項目	費用
保険関係費用* ³ (年金管理費)	年金のお支払い・管理等に必要な費用 年金額に対して1.0%以内 (毎年の年金支払日に 責任準備金から控除します)

●年13回*⁴以上のスイッチングを行う場合にかかる費用

項目	費用
積立金移転費用	スイッチングを行う場合で、年13回目* ⁴ からかかる費用 1回あたり1,000円

- *1 保険関係費用(保険契約管理費)は基本保険金額に対して計算しますので、基本保険金額が一定の場合、保険関係費用(保険契約管理費)は積立金額の増減にかかわらず一定となります。
- *2 保険関係費用(保険契約管理費)を控除する際、費用に相当するユニット数(ご契約者が保有する特別勘定の持分の単位数)が減少します。
- *3 保険関係費用(年金管理費)は、毎年お支払いする年金額から差し引かれるものではなく、将来の年金のお支払いのために積み立てられている責任準備金から控除されます。また、保険関係費用(年金管理費)は、将来変更する可能性があります。
- *4 「年」とは、契約応当日(契約日)から翌年の契約応当日前日までをいいます。

投資リスクについて

- この商品は、将来受け取る年金額、死亡保険金額、解約払戻金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険(変額個人年金保険)です。
- 将来受け取る年金額、死亡保険金額、解約払戻金額等に最低保証はありません。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、ご契約者は収益を期待できる一方、価格変動リスク・金利変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・カントリーリスク等の投資リスクを負うこととなります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、年金、死亡保険金、解約払戻金等のお受け取りになる金額の合計額が、一時払保険料の額を下回り、損失が生じるおそれがあります(被保険者が積立期間中に所定の不慮の事故による傷害などでお亡くなりになった場合は、基本保険金額と同額を災害死亡保険金として死亡保険金に加算してお支払いします)。
- 積立金額が0円になった場合は、ご契約は消滅します。ご契約が消滅した場合には、以後の死亡保険金、年金等のお支払いはありません。
- 運用対象や運用方針の異なる複数の特別勘定の中から、投資対象となる特別勘定をお客さまの判断で決定していただきます。また、特別勘定の資産運用の成果およびリスクはお客さまに帰属することになります。
- スwitchingを行った際には、選択した特別勘定の種類によっては、その特別勘定の投資リスクがスイッチング前の特別勘定の投資リスクと変わることがあります。
東京海上日動あんしん生命保険株式会社の業務または財産の状況の変化や経営破綻により、年金額・死亡保険金額等が削減されることがあります。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

この商品は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。

【募集代理店】



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行

【引受保険会社】

東京海上日動あんしん生命保険株式会社
ホームページ <http://www.tmn-anshin.co.jp>

ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ

0120-237-770

受付時間 月～金/9:00～17:00

(祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)